

## 第14回 学校再編検討会 次第

日時 令和3年12月21日（水）

場所 市役所3階 第1会議室

15:42～16:20

### 1 あいさつ（山下教育長）

- ・時間の都合もあるため、略させていただきます。よろしくお願いいたします。

### 2 協議事項

#### （1）スケジュールについて

- ・事務局より今後の学校再編基本構想策定に向けたスケジュールについて説明。  
年明けに学校再編基本構想の素案を作成し、2月にパブリックコメントの実施と市民説明会の開催を予定したい。パブリックコメントの実施期間は一か月間。市民説明会は芦原中学校区と小諸東中学校区でそれぞれ1回ずつ開催することとしたい。2月広報に記事掲載し市民へ周知する。  
⇒委員了承。

#### （2）学校再編基本構想案について

- ・事務局より素案配布。前回からの修正箇所について説明。  
訂正等あれば12月中に事務局まで連絡いただきたい。1月18日には素案の最終確認を行いたい。
- ・学校再編基本構想作成後のスケジュールの案はあるか。今後、校地選定等新たな検討組織の設置の予定について事務局に案はあるか。
- ・市長部局では、公共施設総合管理計画の改定作業を行っている。コストシミュレーションを複数行い教育委員会と一緒に検討し、学校再編とリンクさせながら計画改定に向けて進めていきたい。3月までに比較検討資料を作成し、4月にはその資料を基に検討する組織の設置を考えている。また、作成した資料をチェックするための学識経験者による組織を設ける予定。加えて教育委員会でも小中一貫したカリキュラムづくりに向けた組織の設置が必要と思われるが、議論のゴールをどこにするのかによって、設置期間や構成メンバーが変わってくると考えている。1月の会議で一度方向性を出したいと考えている。
- ・学識経験者とは義務教育経験者をイメージすればよいか。

- ・校地に関しては建築に関する知識の深い方、カリキュラムに関しては教育の知見を有する方に参加していただけると良いのではないかと思います。
- ・現場の校長先生、PTA の参加も必要ではないか。
- ・具体的な運営の話になれば PTA への説明は不可欠と思う。子どもたちの通学方法や通学区についても検討に向けて準備しなくてはならない。

### (3) その他

次回会議予定 1月18日(火)

⇒急遽検討が必要な事項があった場合は、1月5日(水)の教育委員会後に開催する。